

# 堺市地球温暖化対策実行計画の概要

## 第1章 気候変動の現状と動向

- 気候変動問題
  - ・2020年の世界平均気温は、観測史上最高（気象庁）
  - ・今後、豪雨災害等の更なる頻発化・激甚化等が予測され、将来世代の影響が懸念⇒もはや「気候変動」ではなく、「気候危機」
- 国内外の気候変動対策に関する動向
  - 【世界】・2015年9月 SDGsの採択 ・2015年12月 「パリ協定」の採択
  - ・IPCC1.5℃特別報告書 地球温暖化を1.5℃に抑制するには、CO<sub>2</sub>排出量 2030年：約45%減少（2010年比）
  - 2050年：実質ゼロ
  - 【国内】・2030年度に46%削減（2013年度比）
  - 2050年実質ゼロ（カーボンニュートラル）実現
  - ・温室効果ガスの排出抑制に加え、気候変動への適応も推進

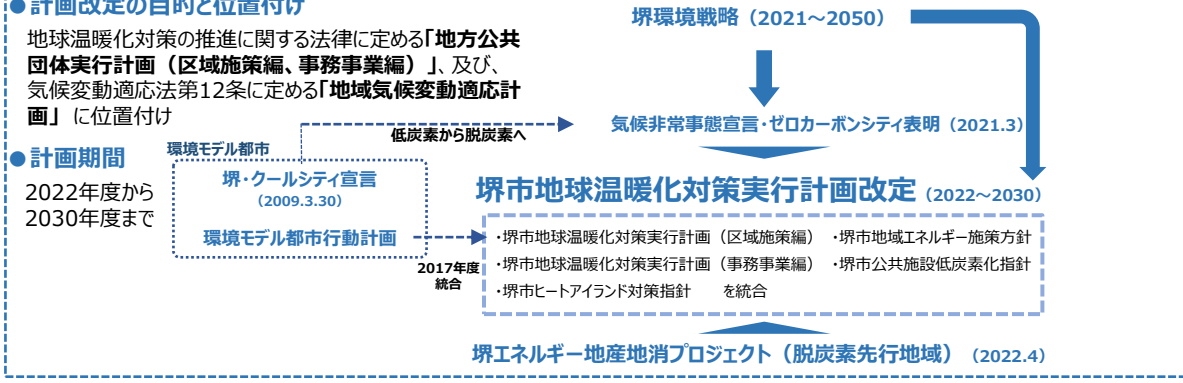
## 第2章 堺市の現状

- 堺市の気候・社会状況
  - ・猛暑日の日数は増加傾向
  - ・日降水量50mm以上の日数も増加傾向
- 堺市の温室効果ガス排出量等の状況
  - ・堺市域の排出量：605万t-CO<sub>2</sub>（2018年度） 基準年度比▲18.9%
  - ・堺市役所の排出量：19.9万t-CO<sub>2</sub>（2020年度） 基準年度比▲21.0%
  - ・2018年9月に発生した台風21号では、記録的な暴風等に見舞われ、堺市においても甚大な被害が生じる等、気候変動の影響が既に顕在化。



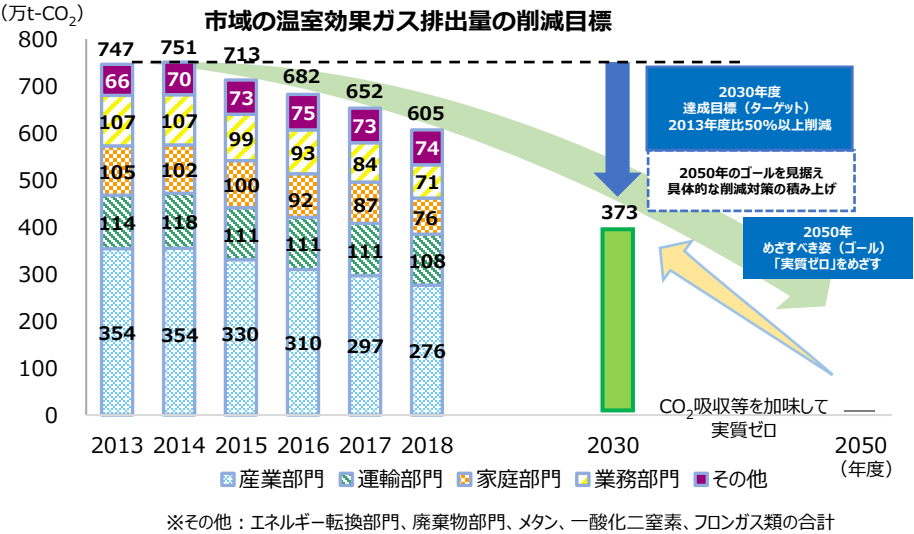
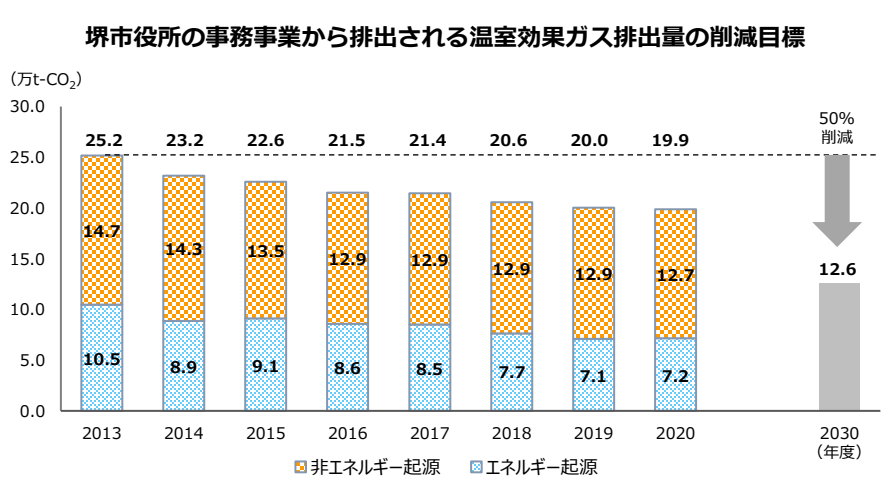
台風21号の被害

## 第3章 計画の基本的事項

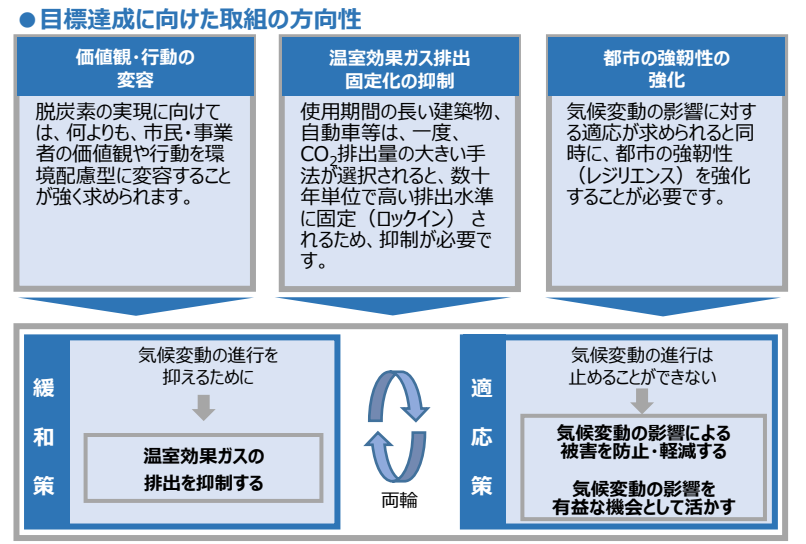


## 第4章 めざすべき姿と計画の目標

- 2050年のめざすべき姿
  - 堺環境戦略で掲げる2050年までの脱炭素都市の実現を含む環境将来ビジョンの達成
- 2030年度の目標
  - 基本理念：全ての人が幸せ（Well-being）に暮らす、持続可能な環境イノベーション都市
  - 事務事業から排出される温室効果ガス排出量の削減目標：市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量を2013年度比50%以上削減する
  - 市域の温室効果ガス排出量の削減目標：温室効果ガス排出量を2013年度比50%以上削減する。太陽光発電設備導入容量を240MW以上とする



## 第5章 気候変動対策（緩和策と適応策）

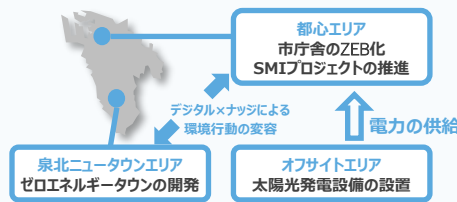


### ●緩和策～温室効果ガスの排出抑制～

- (1) 市役所の温室効果ガスの排出抑制
  - (ア) 徹底した省エネルギーの推進
    - ESCO事業等を活用した高効率設備の導入
    - 省エネルギーの推進・特定建築物のZEB化
    - 環境配慮性能の確保
  - (イ) 再生可能エネルギーの最大限の導入
    - 太陽光発電設備等の導入
    - 再生可能エネルギー熱の利用
    - 「再エネ100%電力」への切り替え
  - (ウ) 堺エネルギー地産地消プロジェクト（脱炭素先行地域）
  - (エ) 公用車の減車及び電動化
  - (オ) ごみの減量化・リサイクルの推進
  - (カ) デジタル化、働き方改革、職員意識・行動変容
    - デジタル化・ペーパーレス化
    - 職員のテレワーク推進
    - ナッジを活用した環境行動変容の促進
  - (キ) 木材利用の促進

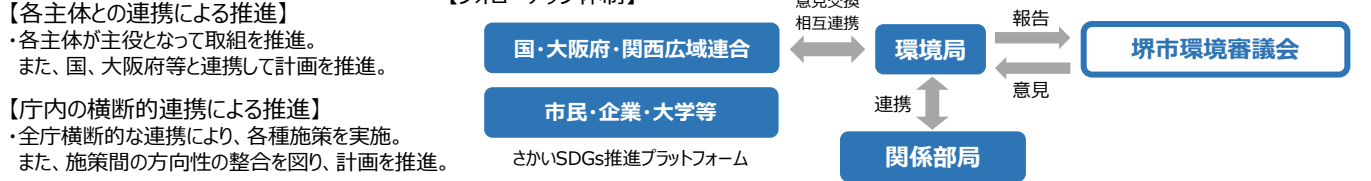
### (2) 市民・企業の温室効果ガスの排出抑制

- 【家庭部門・業務部門】
  - (ア) 価値観・行動の変容
    - 脱炭素型ライフスタイルへの転換
  - (イ) 住宅・ビルの省エネルギー化
    - ZEH・ZEBの普及促進
    - 再生可能エネルギーの導入促進
    - J-クレジット制度の活用
    - 土地利用・建物の更新機会
  - (ウ) 堺エネルギー地産地消プロジェクト（脱炭素先行地域）
- 【産業・運輸部門】
  - (ア) 脱炭素経営の推進
    - 徹底した省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの最大限の導入
    - 企業活動における脱炭素経営の推進
    - 中小企業等におけるロールモデルの創出
    - 自主的取組の促進
  - (イ) 成長産業等のイノベーションの早期実現
    - グリーンイノベーションの投資促進
    - 水素需要のポテンシャル
  - (ウ) モビリティの脱炭素化
    - 公共交通の利用促進
    - 自転車の利用促進
    - 電動車の普及促進
    - モビリティ・イノベーション
- 【緑地等の保全（吸収源対策）】
  - 緑地の保全（南部丘陵）
  - 都市緑化の推進
  - 木材利用の促進【再掲】
- 【パートナーシップ】
  - 都市間連携
  - 様々な主体と連携した取組の推進



堺・モビリティ・イノベーション (SMI) プロジェクト

## 第6章 計画の推進



### ●適応策～気候変動の影響による被害の防止・軽減～

- 【熱中症対策の推進】
  - 熱中症注意喚起の徹底
  - クールスポットの開設
  - 透水性舗装の施工等による地表面の高温化抑制
  - 住宅・ビルの省エネルギー化【再掲】
  - 電動車の普及促進【再掲】
- 【激甚化する災害への対応】
  - 浸水対策の着実な実施
  - 地域防災力の向上
  - 再生可能エネルギーの導入促進【再掲】
  - 災害廃棄物処理体制の構築
- 【気候変動に適応した暮らし方への変容】
  - 気候変動に適応した農業の促進
  - 適応ビジネスの支援
  - 都市緑化の推進【再掲】